

北海道のオープンソース関連活動と コミュニティ近況

北海道*BSDユーザーズグループ
ささきのぶゆき

2006/01/30

NoBUGの紹介

- 1999/7 「FreeBSD友の会北海道支部を作りたい」
 - ◆ 札幌市内のバス運転手さんから提案
 - ◆ メールングリストで活動開始
 - ◆ 興味がある人が、既に使っている人の情報を得る
- 2000/3 BUGS(全国BSD連合)誕生
- 2000/12 IW2000大阪で、NoBUGも作る宣言
- 2001/3 NoBUG(Northern land *BSD Users Group)として活動開始

NoBUGの紹介

- 2001-2003にかけてはいろいろ活動
 - ◆ 勉強会、一般向け講習会
 - ◆ 他団体への技術協力など
- 2004 北海道のオープンソース関連団体イベントに参加
- 2005 あまり目立った活動がない

NoBUGのご紹介

- 年代的には30-40代
- 220人くらいはMLに登録している(2004)
- メンバ的には情報産業界の人が多く
- 常にデスクトップがBSDな人は少ないかも
- 明確な会則などはないので、経済活動はない

その他のOSS関係団体

- 札幌インターネットユーズーズグループ 1996年
- 北海道Linuxユーズーズクラブ (DoLUC) 1999年4月
- 北海道*BSDユーズーズグループ (NoBUG) 2001年2月
- Open SOAPプロジェクト 2001年4月
- 日本PostgreSQLユーズーズ会北海道支部 2001年6月
- 札幌Zopeユーズーズ会 2001年12月

その他のOSS関係団体

- 札幌Linux連合 2003年8月
- NPO北海道オープンソース&セキュリティ 2004年3月
- Nature's Linux Users Group 2004年4月
- XCAST fan club えぞ系 2004年6月
- Oo北海道ユーザーの集い 2004年6月

HOSS

- NPO法人「北海道オープンソース&セキュリティ」
- 2003年設立
 - ◆ 「北海道においては、コミュニティはあるが、文化・産業や開発基盤はないので、文化、産業を支援する仕組みづくりをする」
 - ◆ 企業、大学、官庁により理事会
 - ◆ 一部自治体の調査等に協力実績がある
 - ◆ その他の活動は現在不明
- あとでね…

その他の団体：マイコン研

- 北海道マイコン研究会
 - ◆ 1976年設立
 - ◆ 北海道大学、青木教授中心
 - ◆ 学生、近隣企業を含めた研究会
 - ◆ その後、門下生が情報ベンチャー企業を立ち上げる基盤となる
 - ◆ BUG, db-soft, ソード札幌、etc...
- 「マイコン&ハムベンション」
 - ◆ マイクロコンピュータは当時アマチュア無線と同じレベル
 - ◆ ハドソンでコンピュータを扱い始めた時代
 - ◆ 「サッポロシティスタンダード」などという言葉の発生

その他の団体：NORTH

- NORTH(北海道地域ネットワーク協議会)
- 1993 North 設立
 - ◆ 北海道でインターネット常時接続環境を構築し、インターネット接続の必要性と知識を啓蒙する
 - ◆ 札幌エレクトロニクスセンタ、北大、テクノパーク立地企業が参加
 - ◆ WIDEへの接続による、学術系企業接続ネットワークとして発足
- 1998 インターネット普及に伴い役割が変化
- 2003 NPO法人NORTH発足

その他の団体：NCF

- Network Community Forum
- 1996 発足
- 北海道大学、山本教授中心
 - ◆ 電子化されたコミュニケーションが可能にする新しい活動単位の創造
 - ◆ 電子コミュニケーションリテラシの向上
 - ◆ 業種、地域を越える新しい活動単位の創造
 - ◆ 事業化プロセスの学習
 - ◆ 事業をつくるのが目的
- 2003ころ、発展的解散

その他の団体：NCF

- NCFが残したもの
 - ◆ 地域人脈の生成
 - ◆ 電子コミュニケーション技術の理解
 - ◆ 情報ビジネス系プロジェクト
 - BizCafe (ビジネスインキュベーションカフェ)
 - 新たなベンチャー設立
 - ◆ 派生プロジェクト
 - シニアベンチャー
 - PC-R、NextDAY
- 情報系ビジネス、その他の地域産業に大きな影響
- 「サッポロバレー」という言葉の誕生

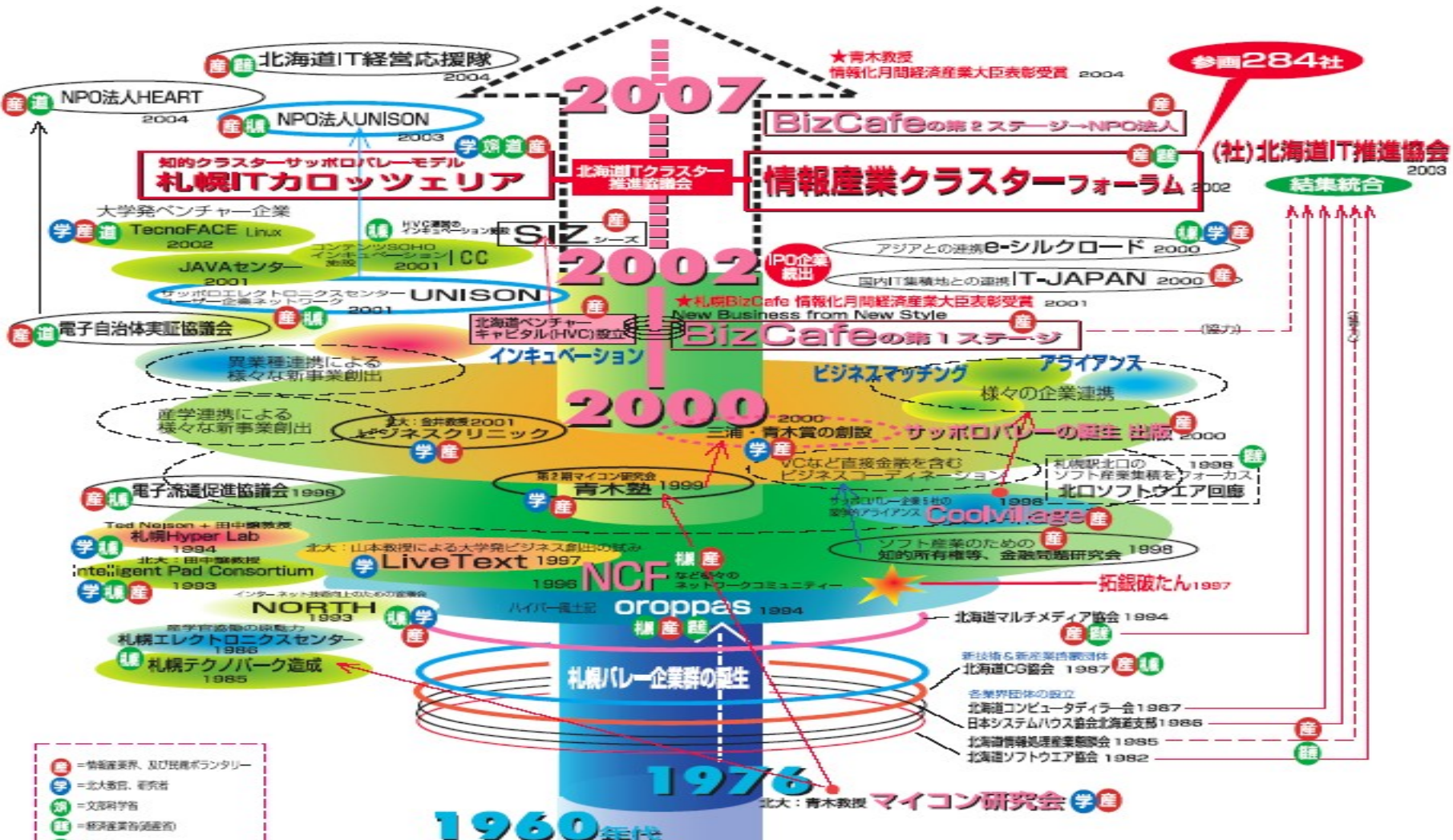
北海道情報産業のあゆみ

- 1980年くらいまで
 - ◆ 「ソフトウェアベンチャー」などと表現される時代
 - ◆ オフコン、汎用機システムのソフトウェアをメーカー以外で作る会社の発展
 - ◆ ソフトウェア業に分類される産業
- 1980-95年くらい
 - ◆ 「マイコンベンチャー」などと表現される時代
 - ◆ 北海道マイコン研究会の世代が作った情報産業ベンチャー
 - ◆ システムハウス業に分類される産業
- このころはまだ「オープンソース」などという言葉がない

北海道情報産業のあゆみ

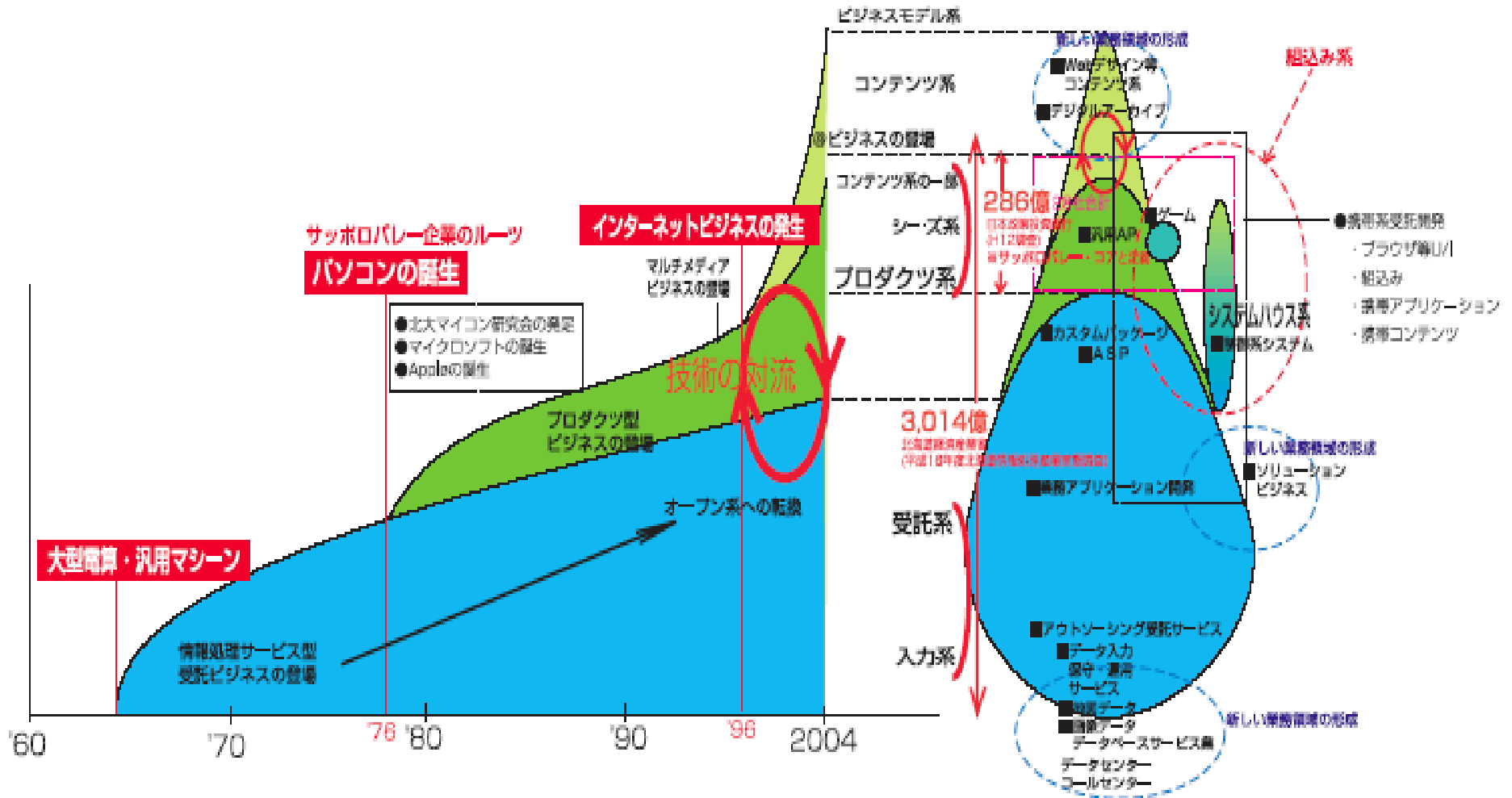
- ちょっと脱線：1990年前後
 - ◆ 携帯電話が一般化されてくる
 - ◆ 「マイコン&ハム」が「パソコン&ケータイ」に変わる
- 1995-以降
 - ◆ 「NCF, BizCafe 世代」などと、近隣では表現されている
 - ◆ ネットワークコミュニケーションが中心になる情報産業
 - マルチメディア、ネットワーク、コンテンツ、産業クラスタ
 - ◆ 情報サービス業に分類される産業
- 「オープンソース」を利用する世代

北海道情報産業のあゆみ



出展: 北海道ITレポート2005(北海道経産局) 制作: データクラフト(株)高橋昭憲氏

北海道情報産業のあゆみ



- 出展: 北海道ITレポート2005(北海道経産局) 制作: データクラフト(株) 高橋昭憲氏

コミュニティの成立

- ネットワーク系
 - ◆ 主に1995年が境
 - ◆ 以前からパソコン通信のコミュニティはあった
- OS系
 - ◆ 主に2000年前後
 - ◆ インターネットは十分に一般化した時期
 - ◆ OS系はBSDが自由に利用できた時期から約5,6年
 - (FreeBSD-1.0 1993, NetBSD-1.0 1994)

(Linuxのことを考えてないわけでも…似たような時期なもんで…)

コミュニティの成立

- サブシステム系 (DB、WEBサーバなど)
 - ◆ 主に2000年前後
 - ◆ OS関連の発展と同じ時期になる
- アプリケーション系
 - ◆ 主に2004年前後
 - ◆ 実用アプリケーションが多く出てきたことによる
 - ◆ OSはそろった、ネットワークサービスもできる、次はアプリだ。

コミュニティの成立

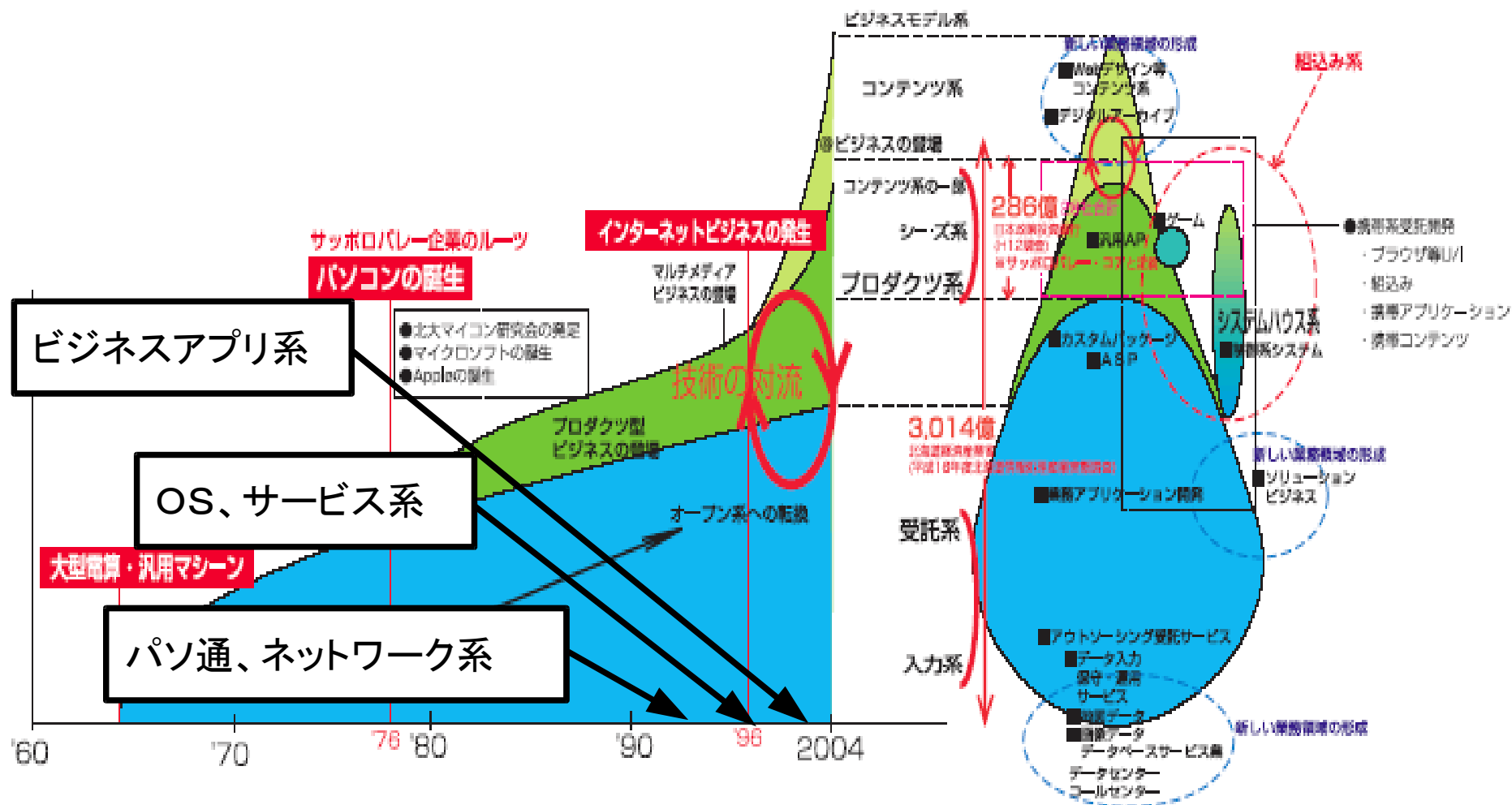
• 意識の変遷

- ◆ まずネットワーク系ユーザがコミュニティ構成
 - 根底はパソコン通信だったり、アマチュア無線だったり…
- ◆ 個人レベルでネットワークに親和性がよいOSを模索
 - コミュニケーションサービスの提供を開始
 - サービス提供側、製作側の意識
- ◆ そこをコアとして使いたい人が参加
 - OS、サブシステム系コミュニティの構成
 - サービス提供側、製作側の意識 + ユーザ側の意識
- ◆ OSレベルは不要な人が参加
 - ユーザ側の意識

コミュニティの成立

- 産業構造の変化とあわせてみる
 - ◆ 受託開発ソフトウェア産業が中心な時代
 - ソフトウェアベンチャー世代の会社を中心
 - ソフトウェアをつくる時代
 - ◆ 独自製品を持つ会社は次の世代
 - マイコンベンチャー世代
 - ソフトウェアをつくる時代
 - ◆ コンテンツサービスなどは次の世代
 - サービス中心
 - ソフトウェアを使い、サービスをつくる時代
 - ◆ 数年前から、オープンソースの利用が促進する時代
 - 全国的傾向と同じ

コミュニティの成立



● 出展: 北海道ITレポート2005(北海道経産局) 制作: データクラフト(株) 高橋昭憲氏

NCF世代の事例：PCR

• PCR

- ◆ techワーキンググループ：
NCF内で電子コミュニケーションリテラシの向上を目的にしたグループが前身
 - メールの仕組み、フリーOS利用など技術的話題が多い
 - NCFはもともと「ビジネスを作る」のが目的
 - ビジネス中心の目からは、ヲタクな会話は少々ウザイ
- ◆ PCRリサイクルワーキンググループの発生
 - NCFは中に学校の先生が多かった
 - 1997年当時、学校にネットワーク教育ができるPCがない
 - 使わないPCを学校にまわしてくれないか？

NCF世代の事例：PCR

• PCR

◆ 「NetDayをやろう」：PCリサイクル事業

- 中古PCの寄付受け付けと配布活動
- 当時不足していたネットワーク接続環境も学校へ配布する
 - ★ その他、聴覚障がい者施設などへ170台以上を寄付
- 配布だけでなく、ネットワーク構築環境なども行う

◆ NCFの人脈と、すでに実践している人達で北海道版NetDayの実現

- 日本でのNetDay先進県である群馬「インターネットつなぎ隊」へ視察など

◆ 2000年 北海道の支援を受け53施設で実施

NCF世代の事例：PCR→NEXTDAY

• NPO法人NEXTDAY

- ◆ 「PCRは地域での市民レベルIT教育をリードする」
 - ハードウェアの提供でなくソフトウェア利用知識を提供する
 - ★ 2001年も企業、個人などの支援でnetday実施
 - 一般市民向けのITリテラシ教育を主眼
 - PCRのメンバと、札幌市清田区の支援、協力により自治体レベルでの業務を実施
 - NetDay活動で、自由に使えるソフトウェアの必要性とその有用性をアピール
 - Linux, OpenOffice.org等のソフトウェア利用を推進
 - 2004年 経済活動のなかで継続するためNPO法人化
 - 2005年 オープンソース関連セミナーを主催運営

NCF世代の事例：PCR→NEXTDAY

- NEXTDAYの活動からわかること
 - ◆ オープンソースを、提供するサービスに利用する実例
 - ◆ オープンソースには拘らないが、有用性もよく理解
 - ◆ ユーザレベルでの活動で開発者はいない
- 地域にあるオープンソースに関わる人がサポート
 - ◆ 開発レベルの人、運用レベルの人、いろいろ
 - ◆ 身近に人がいるからできること
 - ◆ 地域でのコミュニティの意義
- オープンソースビジネスの一つの例
- 開発コミュニティがしない事業のひとつ

北海道でのOSSビジネス

- 北海道電子自治体(HARP)構想
 - ◆ 電子自治体を構成する基盤システムを作ろう
 - OpenSOAPプロジェクトを元に、オープンソースな…
 - ◆ 住民サービスに必要なモジュールのインタフェースを提供
 - オープンソースをベースにしたオープンな…あれ？
 - ◆ インタフェースさえオープンならサービスもオープンに開発できる
 - オープンソースというわけでは…
 - ★ TRONと同じモデルにありそう
 - ◆ 派生物がオープンソースに貢献できるか？
 - 開発ベースでオープンソースに還元されるもの…
 - 運用ベースで社会に還元されるものは…

北海道でのOSSビジネス

- Nature Linux

- ◆ セキュアなビジネス向けLinux配布を作ろう
- ◆ リアルリージョンとバーチャルリージョンによるOS本体の安全性
- ◆ 監視サービスを主体とした運用サービスの提供
- ◆ 稼動実績は自治体関連サービスなどにある
- ◆ 販売実績、市場シェアなど、不明…
 - がんばってほしい…

北海道でのOSSビジネス

- 特定製品ではなく、サービス構築として
 - ◆ 自治体システムサービス
 - 外部向けWEBサービス、メール中継などが多い
 - 業務向けシステムは非公開が多い
 - アプリケーションレベルでも未だ少ない
 - 少ない事例として伊達市がOpenOffice.orgの利用を発表
 - ◆ 大学
 - 外部向けWEBサービス、メール中継などでは多用
 - 情報系では教育用端末の多くにLinux/Windowsマルチブート採用

北海道でのOSSビジネス

- ◆ 高校、中学、小学校
 - 地方自治体の方針に依存
 - 現場となる学校では、知識のある教員が実験的に一部利用
 - 室蘭市は実験的利用後オープンソース撤廃を判断
 - 札幌市も一部利用していたサーバを撤廃予定？
- ◆ 一般企業
 - 外部向けWEBサービス、メール中継などでは多用
(但し自身で構築している場合)
 - 業務システムへの導入例は公開情報がない
 - 積極的に推進する企業は少ないような印象
- ◆ 「自社システムにそのソフトウェアを使った」は言わない
 - 明確な資料はない

北海道でのOSSビジネス

ハードウェア関連

◆ アットマークテクノ: Armadillo

- Linuxサポートを唱う汎用コンピュータボード製造
- Armadillo-portのサポートも割と充実
- 最近NetBSDも動くようになりました

◆ ネクステック

- アットマークテクノと協業しNetBSDベースの組み込み製品
- ET2005で参考出品

開発各社とユーザグループはコミュニケーションしてる？



超小型サイズ

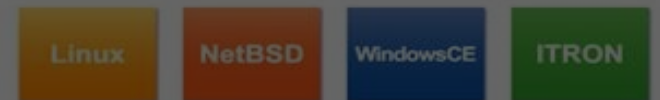
超小型サイズが特徴です。また、USB (USB to Ethernet) 接続すれば電源ケーブルを配線するわずらわしさもありません。

セキュリティ対応・IPv6対応

高性能なARM9プロセッサにより、業界標準であるSSLやIPsecなどの暗号化処理を行うことができます。また、次世代ネットワークの標準通信プロトコルIPv6への対応も可能です。

マルチOSプラットフォーム

標準OSとしてLinux(Kernel2.6系)が搭載されています。Linux以外のOSとしてWindowsCE、NetBSD、ITRONに対応しているため、目的に合わせて最適なOSを選べます。



また、各種のOSに対応し、企業向けにカスタマイズも可能です。

北海道でのOSSへの支援活動

- 自治体による支援

- ◆ 北海道

- 2002-2004年の重点としてオープンソースを推進
- 自治体主催のオープンソースセミナー開催など
- この時期大変よくまとまった資料が公表されている
- HOSSの成立時期と等しい

- ◆ 札幌市

- 2003-2005を重点として推進
- Itマスター認定カテゴリにオープンソース分野を加えるなど

- ◆ 伊達市

- 2002 オープンソースアプリケーション利用の推進

北海道でのOSSへの支援活動

- 政府系による支援

- ◆ IPA

- 2004 学校教育現場での教育システム利用実証実験
 - 2005 自治体でのデスクトップ利用実証実験
(今やっています)

- 企業による支援

- ◆ 個別で自社技術としてOSSベースシステムを宣伝
 - ◆ 企業間で関係する動きは少ない
 - ◆ 開発者などの積極的サポートも不明

- 自治体や企業とユーザグループはコミュニケーションしてる？

OSS活動からの支援

- まとまった支援を行える団体はない
 - ◆ コミュニティを形成する側には何かを支援する意識は少ない
 - ◆ コミュニティを形成する人はいろいろな立場がある
 - 立場としてやりにくかったり
 - 得ることで終わってたり
 - ◆ コミュニティと呼ばれるものの位置
 - <http://japan.linux.com/~sado/diary/20050722.html>
 - コミュニティという言葉から受ける印象と言葉の意味の違い
 - オープンソース関連の各コミュニティがそれぞれどのような立場を取るのか？
 - ◆ そもそもコミュニティは支援とかいう立場？

OSS活動からの支援

- 地域オープンソースコミュニティが持っている意識
 - ◆ オープンソース開発自体に自身が貢献できるリソースは少ない
 - ◆ オープンソースを自らが利用したい
 - ◆ オープンソース利用を訴えかける熱はある
 - オープンソース利用を全体利益にフィードバックする意識は？
 - オープンソースを使ったサービス提供の普及意識は？
 - ◆ いや、それが面白いと思うか思わないか？
 - 趣味として
 - ビジネスとして

OSS関連活動の近況

• 札幌近辺での動き

◆ 2005 自治体でのデスクトップ利用実証実験

- 札幌市水道局とTurboLinux、地元4社が参加するコンソーシアム
- 主にコミュニケーションツールとしての利用検証
- デスクトップ環境としての利用検証
- オフィススイートの利用検証

◆ 近郊施設へのOSS教育環境整備の働きかけ

◆ 地方産業を振興する手段への利用を提言

- 「なんとなくよく顔を出す個人」としての動き
 - ★ なんとなく顔を出す人は大体同じような…
 - ★ 新しいコミュニティが形成されつつある？
- 業界関連団体、行政としても、バラバラに見えている

OSS関連活動の近況

- 旭川近辺での動き
 - ◆ 近隣企業10社程度による利用促進の連系の動き
 - ◆ 地域産業会側の積極推進
 - ◆ 旭川SOHO協議会
 - 地場システム開発でオープンソース利用を推進
 - 今年あたり、面白いことが起こる芽がある

OSS関連活動の近況

- 釧路近辺での動き
 - ◆ 釧路OSSコミュニティ
 - コミュニティメンバによるセミナー開催(2006/2/4)
 - ◆ 地域産業会側の動き
 - 釧路ITクラスタ推進協議会
 - 釧路OSSコミュニティを支援する動き
 - ◆ 行政の支援
 - 地域でのOSS利用メリットを探る動き
 - 釧路OSSコミュニティが活躍
 - 今一番ホットかもしれない

OSS関連活動の近況

- 全体的にみて

- ◆ ビジネスベースで動く企業があるが、連携は少ない
 - 多くはオープンソースのビジネス有用性を認識している
 - 技術者不足の認識もある様子
- ◆ ユーザーベースでの活動は地方で活性化
 - ニーズがあっても、ビジネス化できるに至っていない
- ◆ 大学ベースの活動グループはあまり出てこない
 - 唯一北大が「ITトップガン構想」を挙げている
 - ネットワークが欲しかった時代は大学中心だった気が…
 - ここを出た人は、どこへ行っているのだろうか？

OSS関連活動のこれから

- コミュニティの変化
 - ◆ オープンソースというのは、広すぎる
 - OSなどに加え更に多くのアプリケーション
 - ◆ 北海道も、広すぎる
 - 札幌以外から見れば札幌も東京も同じいや、むしろ札幌は遠いし、薄い
- 知識は集約されていて、よい
 - ◆ 開発コミュニティは言語圏にひとつくらいでよい
 - 開発をやるなら、どこにあっても同じ(はず)
 - 情報を得るのも集約されているほうがうれしい
 - ◆ コミュニケーションするなら、地場の意味はある
- ユーザが欲しいサービスをサポートできるものが地場に必要

OSS関連活動のこれから

• 拠点の必要性

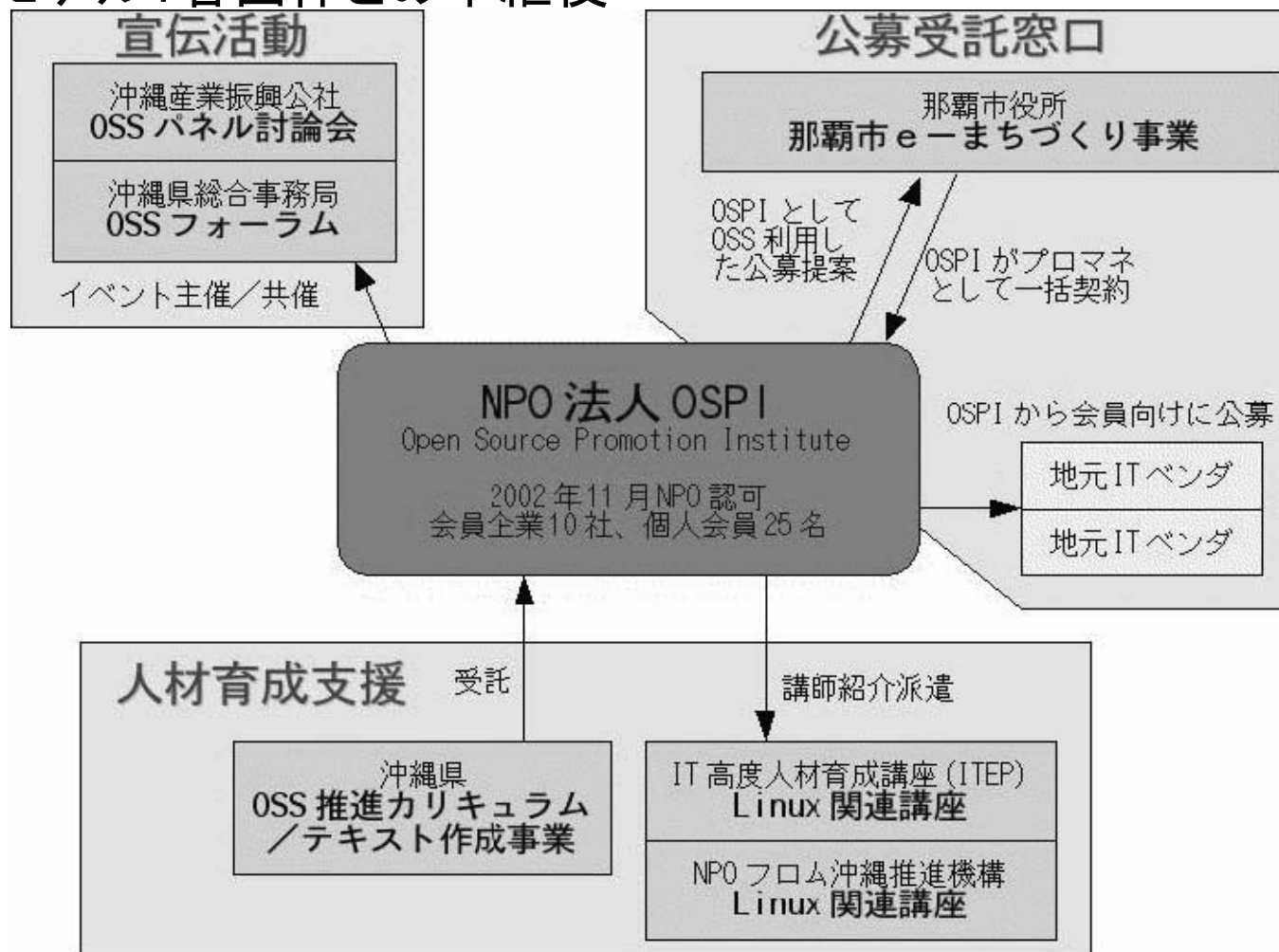
- ◆ 地場で手足を動かす人と、ユーザグループとの交換点
 - サービスビジネスはユーザにサービスを提供し、ユーザからごほうびがもらえる
 - 拠点はビジネスの場に情報を提供し、そこからごほうびがもらえる
 - 拠点到情報を提供するコミュニティは情報を提供すると拠点からごほうびがもらえる
 - 拠点は地場で起こったことを全体に還元し、社会にごほうびをもたらす
- ◆ 経済活動の中の情報拠点のあり方
 - 地域でコミュニティが継続できる基盤
 - 結果をちゃんと還元する
 - NEXTDAYの事例は、市民レベルからこのモデルになったもの

OSS関連活動のこれから

- HOSS ?
 - ◆ やっぱしやるべき
 - ◆ 本質的に沖縄のOSPIのような役割を狙っていたはず
 - ◆ タイミング的には、行政レベルが後押ししていた2003年が最適
 - ◆ 乗り遅れたか？
- もいちどやるって？

OSS関連活動のこれから

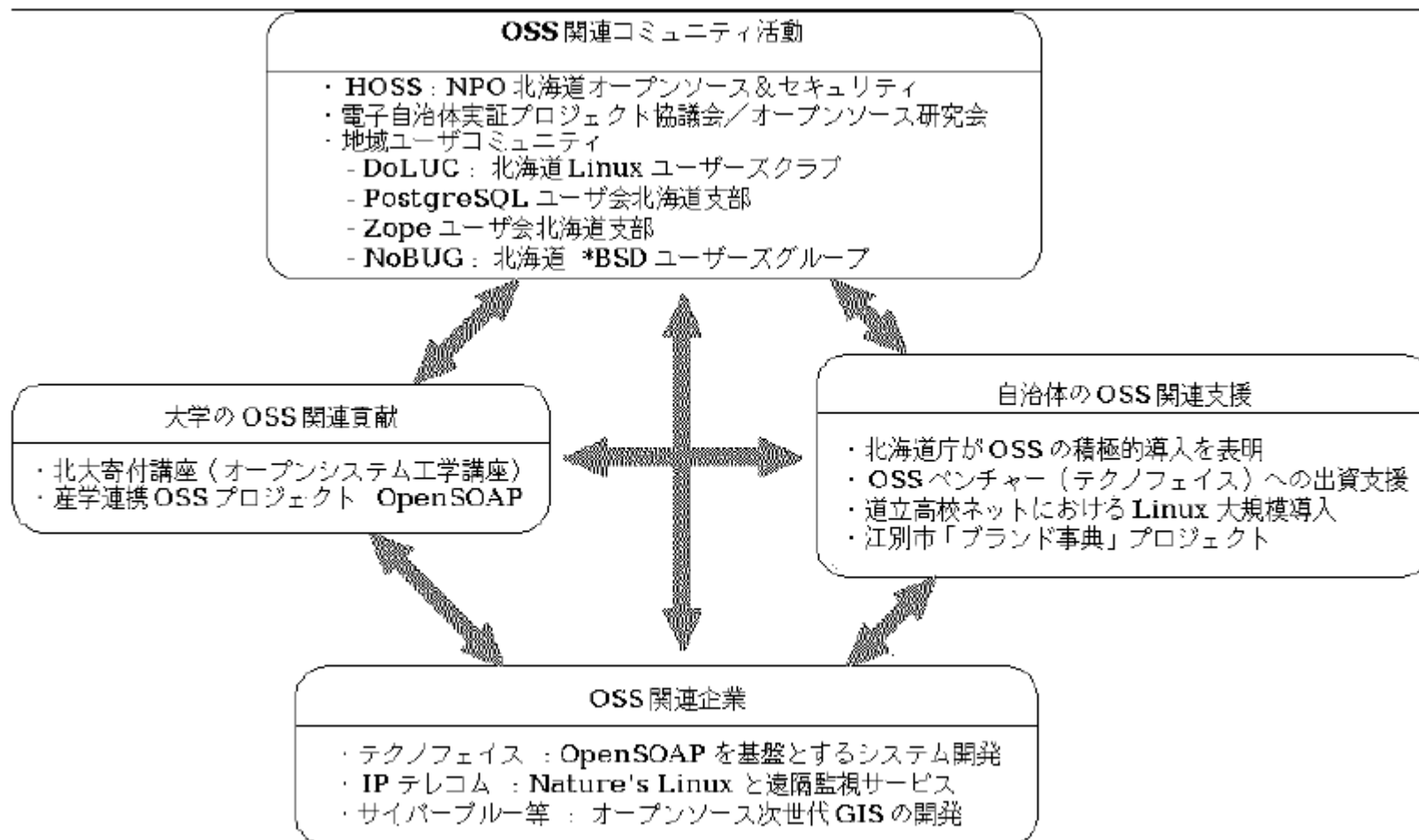
- 沖縄モデル: 各団体との中継役



- 出展: オープンソースによる道内IT産業の新たな発展方策調査 2004北海道経済産業局

OSS関連活動のこれから

- 北海道モデル:HOSSは「コミュニティ」に分類。しかも真ん中がない



- 出展:オープンソースによる道内IT産業の新たな発展方策調査 2004北海道経済産業局

OSS関連活動のこれから

- 必要と感じるユーザは増えてるかも？
 - ◆ ユーザ、開発者、教育、行政、ビジネスの橋渡し役
 - ◆ 結果として全体への寄与ができること
 - ◆ 継続的に活動できること
 - 経済の中での活動として成立すること
 - ◆ 世界的規模のソフトウェアを対象とした団体が地域にあることの意味
 - 北海道の地域特性に合ったもの？
 - ◆ 人材と木材は山から出る（札幌の某IT社長談）
 - いい人材が街に降りる、山がいい人材を育てる？
 - 人が住みたい山でなきゃ人も育たない
 - 住みやすく、産みやすく、育てやすく

OSS関連活動のこれから

- 現在のコミュニティにできること
 - ◆ ネタだしをしよう
 - どんどん遊ぶ。面白いネタが出る
 - ネタをみつけたら、ひけらかす
 - ◆ コミュニケーションしよう
 - おんなじコミュだし
 - ネタいっぱい持っていると仕事いっぱいくるかもだし
 - 仕事くると、遊べるかもだし
 - ★ うまい酒を飲む機会が多いとうれしいし…
 - ◆ 拠点がつくれると、吉
 - 自分のビジネスと共に、経済活動として成立すること
 - 吉、であって、こだわらなくてもいい

ネタづくり

- 北海道マイコン研究会

- ◆ <http://hms.tukusi.ne.jp/>

- ひそひそ話

- ★ なんか最近組み込み多くない？

- ★ そういう研究会作ってビジネスにつなげようか？

- ★ 名前何がいい??

- ★ 昔マイコン研ってあったよね。ちょっと間違えてみつか？

- ◆ 組み込み技術者の育成など近隣へ訴え

- Linux, NetBSD, オープンソースRTOS等の利用も

- 年度始めからぼちぼち実施できるかも？

- まじめな事業の芽

- 正式には

- 「北海道マイコン・ソリューション研究会」

- メンバに昔のマイコン研門下生も

ネタづくり

- GODo 2004
 - ◆ 2004/7 札幌産業振興センター
 - 北海道のコミュニティ共同のお祭り
 - コミュニティそれぞれの考え、立場
 - コミュニティが抱える問題点
 - 次期開催に至らず
- OpenSource Conference in 北海道
 - ◆ 2005/7 北大クラーク会館
 - 組み込み、OSSなど雑多な話題。300人以上の規模
 - GODoの反省を踏まえ？
 - 次回やるなら、もっとビジネスサイドの支援が必要

ネタづくり

- お遊び

- ◆ 石鍋亭コミュニティ

- mixi.jp

- 各コミュニティの人が集まる、もつ鍋&ジンギスカン屋

- リアルコミュニケーションの場

- ◆ XCAST Fan Club えぞ系

- <http://nobug.tukusi.ne.jp/xcast6/>

- もともとWIDEプロジェクトの研究ベース

- これをネタに音楽配信サイトとかまじめに考えてみた
<http://openmusic.jp/>

- どっかの地域のお祭りで遊ぶかも？

地域のOSSコミュニティ

- 時代は流れる
 - ◆ いつまでもオープンソースコミュニティでもない
 - 「King of Hobby」のハム→「ビジネス」のケータイ
 - オープンソース→「ビジネス」のサービス
 - コミュニティも、名前はどうかあれ、役割は変化する
 - ◆ 新しい豊かさ
 - お金は大事だよ
 - 豊かさはお金「だけ」ではない
 - 経済活動の中で動く
 - 文化、資産の維持、発展
- 近所を自分で遊びながら、みんなと
- 喋りながら、食べながら

おまけ

- サンビットシステム
 - ◆ UNIXとネットワークで食いたい
 - 受託ソフトウェア開発
 - ネットワーク設計、構築
 - オープンソースベースシステム構築
 - 地域の情報系NPO, コミュニティにサーバ提供など
 - オープンソースで仕事も遊びもな人、ぼしゅー